



KSKQ

萌風香

2020 年度 夏号

誰もが生き活きと
自分らしく暮らせる
心豊かな社会を
創造します。

社会福祉法人萌 広報紙 NO.69 2020.8.11 編集人 社会福祉法人萌 定価 150 円

〒630-0256 奈良県生駒市本町 7-14 ブルームビル2階 ひだまり内 TEL 0743-85-4196

安心・安全を！ ～法人の取り組み～

利用者や関係者の皆様、法人職員が健康で安全に、そして安心して施設を利用し活動が継続できるように、新型コロナウイルス感染予防のために、以下のことに取り組んでいます。

【各事業所施設内について】

- ・手指用アルコール消毒液の設置
- ・手洗いの徹底
- ・1 時間に 1 回 10 分程度の換気
- ・1 日に 1 回以上、手すり・ドアノブなどの消毒

【職員について】

- ・出勤前の検温実施と上司へ報告
- ・手洗いとマスク着用の徹底

【活動内容について】

- ・活動の中で多人数が密集・密接する場面を回避
- ・不特定多数が集まるイベントや研修会の延期または中止

また、利用者の皆さまへお願いとしまして、

- ・通所前の検温と通所後の体調確認
- ・できるだけマスクを着用すること

を引き続きご協力いただいております。

今後、感染状況を見ながら随時基準を見直していきます。

コロナ禍 私の経験・思い・伝えたいこと

- ・当たり前であった日常が新型コロナで失われた。
- ・施設に来ることも不安だった。
- ・困難な状況の中でも、通える場所があったよかった。
- ・新しい生活様式を一人一人が意識してコロナに打ち勝つていこう！
- ・親が心臓の疾患があるため事業所を休んでほしいと頼まれた。
- ・休んでいる間は家の草刈りなどをして気分転換をした。
- ・散髪タイミングを逃して髪を切りに行けなかった。
- ・普段出かける場所がなくなったので運動不足になった。
- ・いつまでマスクをつけたりする生活が続くのか。
- ・精神科だけでなく通院が不安。行ってもいいが悩む。
- ・何だかイライラする。
- ・もともと引きこもり生活だったので、ステイホームは正直うれしかった。安心して引きこもれた。
- ・少し微熱があつて、親に何度も「コロナじゃないか」と確認したら喧嘩になった。
- ・早くカラオケに行きたい！
- ・行政のリーダーシップをもっとしっかりしてほしい。
- ・工賃が減って困った。
- ・友人と対人関係が悪くなって気持ち通じ合えなかった。
- ・新生活について考えることが増えて、悩ましくなった。
- ・趣味の時間が作れて楽しかった。
- ・自分の経験値が上がった。
- ・終息の時期が見えない。



利用者の方々に掲載しきれないぐらいたくさんの声・思いを寄せていただきました。

ご協力いただき、ありがとうございました。

四徒然

社会福祉法人 萌

理事長 吉川 郁子

緊急事態宣言の中、医療関係

事業者と並んで障害者の福祉事

業者に対しても「事業継続の要

請」が政府から示されました。

利用者の皆様と職員の健康を守

り、いつもと変わらない支援を

行い、社会貢献として何ができ

るかを模索する緊張した毎日が

続きました。

そんな中、日ごろ弁当を作っ

ている事業所がご近所に総菜を

届けようとしたところ、逆に自

治会の方々が配達を申し出てく

ださり、食材はフードバンクか

ら頂けることに。また、ボラン

ティアさんからは心のこもった

手作りマスクが届きました。

皆様からの温かいお声がけや

ご支援は、私たちの大きな励み

となり元気の源となりました。

心よりお礼申し上げます。

一日も早い終息を願い、皆様

の支えを励みに頑張っています。

ます。

生 駒 エ リ ア

生活支援わが-コスモールいこま	0743-73-7000	地域活動支援わが-コスモールいこま	0743-73-0900
ひだまり	0743-85-4196	コミュニティスペースはなな	0743-73-1050
グループホーム楽都	0743-73-0141		

改めまして、楽都です

4月からグループホームはエリア毎の担当になりました。グループホーム楽都では、職員2人・夕食提供をする家事サポーター3人でより生活に密着した手厚い支援を行っています。

帰ってきた時に「おかえりなさい」と声を掛けたり、健康に配慮した夕食を用意したりと、家庭的な雰囲気を楽しめた温かみのある居場所作りを目指しています。

訪問頻度が増えたことで、入居者の安心感も増えています。



「おいしくな〜れ」と夕食作り中

WRAP (元気回復行動プラン)

知っていますか？

「皆さんが元気であるためにやっていることは？」生駒で WRAP が始まりました。

生駒に住む人が元気になれることを目標に、月に1回開催しています。日々の暮らしのなかで自分が元気でいられるようになっていることや体調がしんどくなるのを最小限にできるように考えていきます。

ファシリテーター（進行役）は「生活や仕事をしていく上で WRAP を活用したら楽に生活できるので広めていきたい」と意気込みを語ります。

現在は萌の生駒エリアの人が対象ですが、今後は市民向けに開催できることを目指しています。

新しい ひだまり 進行中！

今年の春から新しいパン職人が来ました！

パン職人は製菓の経験があり、経験を生か



パン職人高島さんです

して新商品を開発しています。

利用者からは「以前に比べて、甘いパンが増えた！」という声も聞こえてきます。

今回は、新作パンの中でもおすすめのパンと、夏限定のパンを紹介したいと思います！

新作パン開発の中でも特に「シナモンロール」の製造に力を入れました。

アーモンドクリームを巻き込み、シナモンとレーズンをたくさん包みこんだ香ばしさと甘さのコラボが病みつきになる人気商品です。

続いて、暑い日が続く中でも爽やかな気持ちになれる夏限定の「ラムネあんぱん」の紹介。

見た目は夏を感じさせる鮮やかな青色。さっぱりとしたラムネ味の餡がたくさん詰まったおやつ感覚で食べることができる子供に人気の商品です。



「ラムネあんぱん」(左)と新商品「シナモンロール」(右)

他にも定番のパンから新作パンまで様々な商品を販売しています。ぜひ、ひだまりにお立ち寄りください。お待ちしております。

郡 山 エ リ ア			
生活支援センターふらっと	0743-54-8112	地域活動支援センターふらっと	0743-54-3977
ふれあい工房	0743-54-6701	彩食キッチンBon	0743-58-5572
グループホームもえぎ館	0743-85-4112		

コロナとともに

騒がしい毎が続きますが、それでも「いつも通りの生活を送りたい」「新しいことに挑戦したい」郡山エリアの活動をご紹介します！

研修会を実施

風に立つライオン基金と NPO 法人ジャパンハートが実施している「ふんわりチャンポン大作戦」



意外とむずかしい！

の派遣チームを招き、新型コロナ対策研修会を行いました。

この作戦は福祉崩壊を防ぐために実施されており、長崎のクルーズ船で対応に当たった医師、看護師から正しい消毒の方法や防護服の着方、ゾーニングなどを学びました。

また、オンラインで基金の設立者の佐田雅志さんや評議員の鎌田實さんが参加。福祉現場へのあたたかいエールに目頭を熱くする職員も。

レストラン、グループホームの視察からの助言もあり、コロナ最前線で奮闘する方から正しい知識や技術を学ぶことで「安心」を得ることができました。

レストランにて

最近、街中で飛沫防止シートを見かけるようになりましたね。レストラン「BonCafe」では、シートに一工夫を試してみました。レストランから見た厨房は、まるで金魚が泳ぐ水槽のようです。



お花や金魚で鮮やかに

商店街の中にあるふれあい工房では、市内の飲食店を応援する『元気城下町さきモグチケット』事業に参加しています。

チケットは早々に完売。地域の方に喜んでもらえ、多くのお客様とふれ合う事が働いているメンバーのやりがいにも繋がっています。

新型コロナウイルスの影響で人通りの少なくなった商店街も少しずつ日常が戻ってきています。

食材をいただきました！

フードバンク奈良から、ハンバーグや焼き魚などたくさんの食材をいただき、毎日の昼食作りで活用しています。



パイナップル、甘くておいしい！

憂鬱になりがちな最近ですが、おいしい食材で楽しいひと時を過ごすことが出来ました。フードバンク奈良のみなさん、ありがとうございました！

看護実習・授業はオンラインで

オンライン授業に、メンバー2名が参加。オンライン実習にはメンバー9名が参加中です。



タブレット越しに、資料を見せる

画面越しで看護学生との「対話」。

初めての経験で、緊張感もあり目も疲れましたが、慣れるにつれて深い対話に。

確かな「人と人とのつながり」が生まれています。

多くの人に支えられて

「医療機関はニュースになるが、福祉の現場でも困っているのでは」

訪問先のご家族や、一緒に支援に携わる弁護士さん、また、社会福祉協議会を通じて市民の方からマスクや消毒液の寄付を頂きました。

本当にありがとうございます！

西和エリア

生活支援わーぽると・ヘル	0745-43-5541	地域活動支援わーまーぶる	0745-75-6545
らそら	0745-70-1577	グループホーム彩友館	0745-43-9333

今からできることを

フードバンク奈良×萌×自治会福祉会

西和エリアでは、6月から月1~2回、地域



の方にお惣菜を配達する活動を始めました。

フードバンク奈良から食材の提供を受け、らそらで調理し、昭和町自治会福祉会のみなさんが配達しています。

【コロナの影響で…】

きっかけはフードバンク奈良から、コロナの影響で休校になった学校給食食材がたくさんあるという話を聞いたことでした。

一方で、学校給食がなく毎日の昼ごはんに困っているという話も聞きます。

らそらには毎日お弁当を作っている厨房、そしてメンバーや調理師がいます。提供された食材を調理、加工することはできます。

しかし、どうやって届けたいでしょう。



一人分の夕ごはんになります

地域の自治会福祉会に相談すると、福祉会の活動として配達する話になりました。それぞれができることを少しずつ担っていくかたちで、地域の方にお惣菜が届きます。

【新たなつながりに】

「いろんなおかずが食べやすい量で入っていて、一人暮らしには嬉しかった」「ごはんを炊くだけで良かった」1回目の配達の後、お惣菜を食べた方の感想です。

配達する福祉会の方も「待っていてくれる人が多かった、顔をみて渡せたので安心した」と話します。

この地域で活動を始めて長くなりましたが、まだ「何をやっているところなの？」と聞かれることもあります。

緊急事態宣言中はできなかったこともありましたが、今までとは違うかたちで地域の方と知り合い、つながる機会にもなりました。

お惣菜には、今日の献立とともにこんなメッセージをつけました。

「夕ごはんがみなさんとのつながりで、心豊かなひとときになりますように」



福祉会のみなさんへバトンを渡します

7月は健康キャンペーン！

2019年度の生活実態調査で、西和エリアは健康診断を受けていない人が80%でした。

今年らはそら・まーぶるで西和7町の健康診断の実施状況を掲示し、ミーティングでも健康について考える機会を作りました。

6月3日時点では平群町・河合町・上牧町は延期のお知らせがありましたが、他4町は通常通り実施されています。

新型コロナウイルスの影響で日々状況は変化していくかと思いますので、健診を受けられる際は市町村への問い合わせをお勧めします。

王寺町には「奈良県健康ステーション」があります。誰でも気軽に健康について考えられる拠点です。是非足を運んでみたいと思います♪



検診の情報がそろっています

高田 エ リ ア

生活支援センターなつつ	0745-23-7214	地域活動支援センターなつつ	0745-23-8105
マインドホーム高田	0745-23-8072	おかわり	0745-23-5625
えいぶる	0745-52-5752	あっとほーむ香芝	0745-44-8023

なつつ一時移転 市の要請受け

新型コロナウイルス感染症拡大防止の自粛期間の影響を受けて、高田エリアの各事業所でも普段通りの活動が難しい日々が続きました。

地域活動支援センターなつつ・生活支援センターなつつは4月1日～5月31日までの2か月間、移転先での活動となりました。なつつが入居する建物が病院の敷地内にあり、大和高田市から一時的に閉所の要請があったためです。

市との交渉の末、4月に新設されたえいぶるの1階にある地域交流スペースを借りて活動を続けることができましたが、プログラムはすべて中止。静養室や面談室が確保できなかったことから、メンバーからも「横になって休めない」「一人になれないのでやっぱりしんどい」といった声も上がりました。

島山所長は「福祉施設の機能を果たしきれなかった」と移転期間の活動を振り返ります。

6月1日からは病院の建物内に立ち入らないことを条件に元の場所に戻って活動を再開しています。

高田エリア コロナ禍の影響大

市が運営する建物が閉鎖になったことでメンバーの仕事に影響が出た事業所もあります。

温泉施設さくら荘の閉館に伴い、同施設内にあるレストラン咲咲も営業を自粛。代替りの仕事として内職などの仕事に取り組みました。

レストラン業務ができないことにより工賃が大幅に減額となってしまうメンバーに対して工賃の補償もありました。同じくえいぶるも交流センターの閉館により喫茶店が営業を自粛。メンバーの工賃が大きく減額するのを防ぐため、内職のほかに喫茶コーナーの清掃や研修といった普段とは違う仕事を取り入れました。

自粛期間が明けた現在も“新しい生活様式”を模索しながら今日も活動を続けています。

地域に愛される事業所に！

えいぶる 移転から3カ月

無事に竣工・移転し、引っ越しも終えたえいぶる。今回は建物の内観や新しく取り組む活動について紹介します。

活動に予算が回せるようにと引っ越しの料金が安い時期を避けたため、初めの1週間は荷物がなく、床に座りこんで作業をする日々でした。それでもメンバーから「明るい」「ここに住みたい」「作業がしやすい」という声も聞かれ、はりきって新施設での活動がスタートしました。

引っ越しから3カ月が経ち、ようやく物の配置も決まり落ち着いてきました。作業室からは窓越しに事務室が見えます。「スタッフがちゃんと仕事してるか分かるな(笑)」とメンバーも作業しながら話す余裕も出てきました。

南向きのサロンには室内日光浴が出来そうなほど日が当たります。床に座ってくつろぐ人、ソファでひと休みする人など様々な過ごし方をしています。



休憩時間はサロンでリラックス

新事業の製菓も新しいユニフォームが決まり「お菓子屋さんみたい！」とメンバーにも好評です。美味しくて大和高田らしいお菓子を作ろうと試行錯誤しています。

コロナウイルスの影響で内覧会が出来ない状態ですが、地域で愛され必要とされる施設になるように少しずつ進んでいきたいと思っています。



特産物を使用したお菓子を試作中

檀 原 エ リ ア

生活支援センターあほへと	0744-24-2020	地域活動支援センターあほへと	0744-24-2070
生活支援センターいろは	0744-32-7753	ひなた舎	0744-32-7745
P i t 八木	0744-21-5666	グルームホーム南	0744-24-2050

危機を乗り越える仲間がいる コロナ危機と居場所の意義

今年も豊作！

～畑で日を浴び身体動かしリフレッシュ～

『檀の木ハウス』では、地域住民の方から畑の一部を借りて野菜を育てています。

今年もきゅうり・トマト・ナス・ズッキーニなどの夏野菜、他にもいんげん豆やスナップエンドウ、モロヘイヤに空心菜といった豆類や葉物など、多くの野菜が収穫できました。

毎年恒例となっている玉ねぎとジャガイモの収穫時期となったため、みんなで協力して掘り起こしました。たっぷりとしたジャガイモに

「おおー」と感激の声。いつも色々と助けて頂いている近所の方からも「立派な玉ねぎとれたなー。うまいぞー」とお褒めの言葉。暑い中でも小まめに手入れを続けてきた労が報われる瞬間です。



食べるのも楽しみ～♪

入居者のみんなもコロナ感染拡大の影響に伴い、普段のような外出ができなくなりました。運動不足になったりストレスが溜まりやすい中、畑の作業はお日さまを浴びながら（少し距離をおいて）他者とも出会える、よい気分転換の場となっています。



収穫も楽しくおしゃべりしながら！

新型コロナの影響が社会の隅々まで浸透しています。4 月には緊急事態宣言が発令され、様々な社会活動が自粛を要請されました。

しかし、福祉施設は「社会活動の維持」に必要な業種のため、活動継続が要請されました。

そのため、マスク着用・毎日の検温・手指の消毒など、徹底した感染症予防に取り組み、事業所運営を継続しています。

テレビを通して得る情報も、恐怖心を煽るようなものばかり。

新型コロナによって、私達は先行きの見えない不安でいっぱいになりました。

このような状況だからこそかもしれませんが、改めて居場所の大切さを利用者・職員共々、再認識しました。なぜなら、事業所の扉を開けると、そこにはいつもと変わらない日常があったからです。馴染みの仲間たちがそこにいて、いつもと同じ活動に取り組む。なぜか、それだけでほっとするのです。

目前に変わらない日常が存在する。それだけで、本当に気持ちが落ち着く。日常があること。居場所があること。そのありがたみを本当に実感しました。

社会全体が危機的状況の中で、私たちが何とか乗り切れたのは、居場所があったからだと確信しています。そこには、利用者・職員の垣根はなく、肩を寄せ合い励まし合いながら、危機を乗り越える仲間がいました。

集まることは、公衆衛生的には賛否があるかもしれませんが、でも、人間としては、大切なことだと思います。私たちの先達が続けてきてくれた居場所づくりという実践活動は、このような危機にこそ真価を発揮するのだと実感しました。

危機は公衆衛生上のものだけではなく、精神保健上の危機もあります。これからも感染予防を徹底して、私たちの実践の本質を忘れることなく、事業所運営を継続していきたいと思っています。

2019年度 決算報告書

自 2019年4月1日
至 2020年3月31日

法人単位 貸借対照表

2020年03月31日現在

借 方				貸 方			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減	勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	229,503,569	197,696,101	31,807,468	流動負債	55,645,262	57,681,954	▲ 2,026,836
現金預金	64,954,908	85,802,842	▲ 20,847,934	買掛金	826,588	1,800,605	▲ 974,017
前払金	2,198,463	1,651,360	547,103	未払金	33,768,710	27,853,812	5,914,898
貯蔵品	1,606,004	1,486,406	119,598	1年以内返済予定 施設整備資金借入金	7,960,000	7,960,000	0
出資金	50,000	170,000	▲ 120,000	預り金	13,066,820	20,034,537	▲ 6,967,717
未収金(国保連)	63,173,469	62,683,556	489,913	仮受金	23,144	33,000	▲ 9,856
未収金(利用者負担金)	372,544	294,409	78,135	固定負債	32,035,000	39,995,000	▲ 7,960,000
未収金(補助金)	43,752,515	39,958,449	3,794,066	施設整備資金借入金	32,035,000	39,995,000	▲ 7,960,000
未収金(他)	51,556,601	3,495,881	48,060,720	負債の部合計	87,680,262	97,676,954	▲ 9,986,836
売掛金	1,839,065	2,153,198	▲ 314,133				
固定資産	658,203,692	611,922,509	46,281,183				
基本財産	373,390,885	384,076,851	▲ 10,685,966	基本金	34,289,196	34,289,196	0
土地	171,379,216	171,379,216	0	基本金	34,289,196	34,289,196	0
建物	202,011,669	212,697,635	▲ 10,685,966	国庫補助金等特別積立金	119,927,962	78,066,779	41,861,183
その他の固定資産	284,812,807	227,845,658	56,967,149	国庫補助金等特別積立金	119,927,962	78,066,779	41,861,183
構築物	56,234,645	64,008,820	▲ 7,774,175	その他の積立金	137,786,300	137,786,300	0
車両運搬具	4,874,799	5,847,646	▲ 972,847	役員退職金積立金	0	0	0
器具及び備品	10,038,765	9,473,504	565,261	建物減価償却積立金	89,000,000	89,000,000	0
権利	1,321,098	1,340,388	▲ 19,290	施設・設備整備積立金	48,786,300	48,786,300	0
建設仮勘定	74,557,200	9,389,000	65,168,200	次期繰越活動収支差額	508,023,541	461,799,381	46,224,160
役員退職金積立預金	0	0	0	次期繰越活動収支差額	508,023,541	461,799,381	46,224,160
建物減価償却積立預金	89,000,000	89,000,000	0	(うち当期活動収支差額)	46,224,160	43,479,404	2,744,756
施設・設備整備積立預金	48,786,300	48,786,300	0	純資産の部合計	800,026,999	711,941,656	88,085,343
資産の部合計	887,707,261	809,618,610	78,088,651	負債及び純資産の部合計	887,707,261	809,618,610	78,098,507

法人単位 資金収支計算書

(自)2019年04月01日 (至)2020年03月31日

勘定科目		予算	決算	差異	
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	382,252,000	382,410,571	158,571
		就労支援事業収入	94,770,000	94,101,783	▲ 668,217
		経常経費補助金収入	162,921,000	163,633,433	712,433
		事業収入	23,148,000	25,711,667	2,563,667
		寄附金収入	955,000	749,880	▲ 205,120
		受取利息配当金収入	200,000	330,524	130,524
		雑収入	1,097,000	1,599,016	502,016
	事業活動収入計(1)		665,343,000	668,536,874	3,193,874
	支出	人件費支出	450,820,788	442,539,392	▲ 8,281,396
		事業費支出	47,863,800	43,776,957	▲ 4,086,843
		事務費支出	27,385,000	31,761,798	4,376,798
		就労支援事業支出	93,662,000	87,338,521	▲ 6,323,479
		支払利息支出	384,000	289,942	▲ 94,058
事業活動支出計(2)		620,115,588	605,706,610	▲ 14,408,978	
事業活動資金収支差額(3)=(1)―(2)		45,227,412	62,830,264	17,602,852	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	48,163,000	48,163,000
		固定資産売却収入	25,000	44,118,166	44,093,166
		施設整備等収入計(4)	25,000	92,281,166	92,256,166
	支出	施設整備資金借入金元金償還支出	7,960,000	7,960,000	0
		固定資産取得支出	68,789,000	113,307,270	44,518,270
		施設整備等支出計(5)	76,749,000	121,267,270	44,518,270
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)―(5)		▲ 76,724,000	▲ 28,986,104	47,737,896
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	0	0
		その他の収入	0	215,200,394	215,200,394
		その他の活動収入計(7)	0	215,200,394	215,200,394
	支出	積立資産支出	15,000,000	0	▲ 15,000,000
		その他の支出	0	215,200,394	215,200,394
		その他の活動支出計(8)	15,000,000	215,200,394	200,200,394
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)―(8)		▲ 15,000,000	0	15,000,000
	予備費支出(10)		3,000,000	0	▲ 3,000,000
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		▲ 49,496,588	33,844,160	83,340,748
	前期末支払資金残高(12)		147,973,592	147,974,147	555
	当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)		98,477,004	181,818,307	83,341,303

法人単位 事業活動収支計算書

(自)2019年04月01日 (至)2020年03月31日

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増 減	
サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス等事業収益	382,410,571	377,786,457	4,624,114
		就労支援事業収益	94,101,783	93,835,836	265,947
		経常経費補助金収益	163,633,433	154,721,700	8,911,733
		事業収益	25,711,667	25,545,524	166,143
		寄附金収益	749,880	1,111,000	▲ 361,120
		雑収益	1,599,016	3,603,692	▲ 2,004,676
		サービス活動収益計(1)	668,206,350	656,604,209	11,602,141
	費用	人件費	442,539,392	433,733,009	8,806,383
		事業費	43,776,957	46,560,393	▲ 2,783,436
		事務費	31,761,798	26,741,912	5,019,886
		就労支援事業費用	87,338,521	90,915,402	▲ 3,576,881
		減価償却費	22,907,915	24,267,022	▲ 1,359,107
		国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 6,301,814	▲ 6,943,471	641,657
サービス活動費用計(2)		622,022,769	615,274,267	6,748,502	
サービス活動増減差額(3)=(1)―(2)		46,183,581	41,329,942	4,853,639	
増減の部 サービス活動外	収益	受取利息配当金収益	330,524	196,082	134,442
		サービス活動外収益計(4)	330,524	196,082	134,442
	費用	支払利息	289,942	347,920	▲ 57,978
		サービス活動外費用計(5)	289,942	347,920	▲ 57,978
	サービス活動外増減差額(6)=(4)―(5)		40,582	▲ 151,838	192,420
経常増減差額(7)=(3)+(6)		46,224,163	41,178,104	5,046,059	
特別増減の部	収益	固定資産受贈額	0	2,301,297	▲ 2,301,297
		施設整備等補助金収益	48,163,000	2,178,000	45,985,000
		その他の収益	213,520,495	0	213,520,495
		特別収益計(8)	261,683,495	4,479,297	257,204,198
	費用	国庫補助金等特別積立金積立額	48,163,000	2,178,000	45,985,000
		固定資産除却額	3	▲ 3	6
		その他の費用額	213,520,495	0	213,520,495
		特別費用計(9)	261,683,498	2,177,997	259,505,501
		特別増減差額(10)=(8)―(9)	▲ 3	2,301,300	▲ 2,301,303
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		46,224,160	43,479,404	2,744,756	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		461,799,381	426,528,877	35,270,504
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		508,023,541	470,008,281	38,015,260
	積立金取崩額・基本金取崩額		0	6,791,100	▲ 6,791,100
	積立金取崩額(14)		0	6,791,100	▲ 6,791,100
	積立金積立額・基本金組入額		0	15,000,000	▲ 15,000,000
	積立金積立額(15)		0	15,000,000	▲ 15,000,000
	次期繰越活動増減差額(16)=(13)+(14)-(15)		508,023,541	461,799,381	46,224,160

社会福祉法人 萌 2019年度 決算報告

2019 年度の後半は新型コロナウイルスにより事業活動に大きな影響があり、経営悪化が懸念されましたが、その影響はほぼ受けず、2018 年度とほぼ変わらない安定した結果となりました。(7.8 面参照)

各事業所における感染防止対策の取り組みを徹底し、利用者の皆さま、関係者の皆さまにご理解、ご協力いただき、誰もが安心安全に居られる場を維持できた結果です。本当に感謝いたします。

収入（収益）については、福祉人材の処遇改善を図るため昨年 10 月に新設された「特定処遇改善加算」の算定によるサービス事業収入の増加、相談支援事業の委託料の増額による増収となりました。

支出（費用）については、特定処遇改善加算による正規職員、パート職員の賃金増額を行い、人件費が増加しています。

そのほか、大和高田市にある事業所「えいぶる」の移転のための施設建設を行い、工事費の支払いはありましたが、約 4,800 万円の国の補助金を受けることができました。

積立金（施設・設備整備積立金）については、毎年、将来的な建物の修繕、建て替え、設備の買い替えのために行っていますが、2020 年 3 月開催の理事会での決議により、新型コロナウイルスの影響による万が一の資金繰りの悪化に備え、今回は積み立てをせずに手元資金として残しておくこととなりました。

まだまだコロナ禍と言われる状況は続き、経営面においても気が抜けない状態です。

まずは事業活動、支援が継続できるように、引き続き感染防止対策の徹底を行い、万が一に備え資金繰りの見通しや助成金等の情報収集を行っていきます。

有効期限の確認を忘れずに！ ～手帳・自立支援医療・年金～

コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療（精神通院医療）の有効期限が令和 2 年 3 月 1 日～令和 3 年 2 月 28 日の方は更新手続きに配慮があります。

手帳の更新手続きは必要です。通院、受診などが困難で診断書の取得が難しい方は提出猶予期間が設けられていますので、各市町村の障害福祉の窓口にご相談ください。

自立支援医療は自動更新されますので手続きは不要です。毎年更新しないと不安だという方はいつも通りの手続きも可能です。

なお、自立支援医療を自動更新する方で、診断書が不要の場合は、次回の通常申請時も「不要」となります。

障害年金は障害状態確認届（診断書）の提出期限が 1 年延長されます。延長の対象となる方には、おって個別のお知らせが届きます。

いずれの手続きもお手元の書類の有効期限を確認し、ご不明な点等は各市町村の担当窓口にお問い合わせください。

さくらんぼ便り

ホームヘルプステーションさくらんぼ 0743-54-0800

感染予防対策 実践中

居宅介護という仕事柄、3密を避けることが難しい場面もあり、ヘルパーは可能な限りの予防をして、利用者の方々にも協力して頂き、支援の提供を継続しています。

外出を伴う移動支援や通院等介助においては、安心と安全を優先して、内容や交通手段等を調整の上、状況に応じた支援をしています。

また、月例会議の中止が続いたので、ヘルパーが孤立感を抱かないよう電話やメールで頻繁に連絡を取るよう心掛け、事務所で収集した感染予防の物資や情報を、短時間ながらも手渡す機会を設けました。

かつてない緊張感が続きますが「ヘルパーさんがいつも通りに来てくれてほっとする」その役目を果たせるよう、今日も笑顔と予防で訪問です。

ライク通信

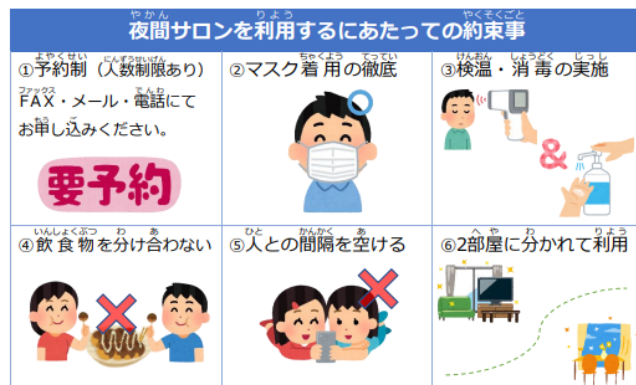
なら西和就業・生活支援センターライク 0743-85-7702

待ってました！夜間サロン

新型コロナウイルスの影響でやむなく中止をしていた夜間サロンですが、緊急事態宣言も解除されたことと「ライクメンバーと会いたい」という利用者の声を受け、7月から再開しました。

部屋を2つに分ける、予約制にするなど工夫をしながら実施します。

新しい生活様式を取り入れながら、安心して過ごせるサロンを皆で考えていきます。



★萌風香の購読★

萌風香は年4回1500部ずつの発行です。皆様のお手元に届いた後、萌の事業所利用者以外の方で「引越しして住所が変わった(住所変更)」「次からは送ってもらわなくても結構です(購読中止)」という場合、お手数ですが必ず編集部ひだまり(0743-85-4196)までご一報くださいますようよろしくお願いいたします。

Mental health messageboard

▽萌 後援会からのご案内

萌後援会は「社会福祉法人萌」の活動を支援していただける皆様を募集しております。

主な目的は萌施設をはじめとした事業の支援や寄付を行なっています。

会費の納入及び寄付の受付口座は郵便振替 社会福祉法人萌後援会

00920-4-221824

後援会事務局(萌総務部内)

0743-54-0821(大東)

▽ハートフルこおりやま 精神障害者の社会参加をすすめる会

「障がいのあるなしに関わらず、誰もが住みやすい街づくり」をすすめる当会では、会の趣旨に賛同頂き、活動に協力して下さる会員さん・ボランティアさんを大募集しています!!年会費は1口500円(2口からお願いします)です。

連絡先:会事務局 ふらっと内

0743-54-3977(桑原)

▽生駒精神障がい者後援会 ひだまりクローバー

生駒市の施設を利用する精神障害者への財政的支援(交通費など)と、啓発活動(トーク&ライブひだまり、こころの市民講座など)をしています。

年会費 一口2000円から。

新規会員募集中!

連絡先:コミュニティスペースはなな内

0743-73-1050(佐藤)

新型コロナウイルスの影響で、各例会の開催が中止・延期など変更されています。詳しくは、下記の各団体・お問い合わせ先にご確認ください。

家族会の情報

詳細は まほろば会(NPO 奈良県精神障害者家族会連合会)

TEL:090-9213-2731 FAX:0742-51-5506 <https://nijironokaze.jimdo.com/>

名称	月例会	時間	場所	問い合わせ先	電話番号
さくら会 (大和郡山周辺)	第3日曜日	13:30~	三の丸会館	会長関野	0743-54-6375
ひだまり会 (生駒市周辺)	第3土曜日	13:30~	市民活動推進センター ららポート	会長上村京子	0743-78-0885
西和家族会 (西和7町周辺)	第4土曜日	13:30~	王寺町やわらぎ会館	西村	0745-74-6203
すみれ会 (大和高田市周辺)	第3日曜日	13:30~	大和高田市中央公民館	三島	090-9889-7984
のぞみ会 (橿原市周辺)	第2日曜日	13:30~	県心身障害者 福祉センター	びあぼ〜と	0744-24-2020